

令和5年度自転車文化センター「自転車に関するテーマ展示」報告

自転車文化センター ライブラリー・ギャラリーにおいて、来館される皆様に自転車の奥深い魅力や多様な活用法を紹介する為、テーマ展示を3回実施した。

第1回「春～夏 自転車に乗ってみよう！」

期 間：2023年4月26日～2023年9月3日

来館者数：954人

内 容：

自転車を利用する人の多くの目的は、通勤・通学・買物といった日常生活での軽快車の利用が主流となっていますが、今回は、そのような日常使いの自転車とはまた違った自転車の乗り方をしてみませんか？というお誘いです。自分の脚を使ってきれいな景色を観ながら少し遠くまで行ったり、そこでの美味しいものを食したり、ひとりでも仲間とでもきっと楽しめる時を作りだすことが出来るサイクリング。また、自転車のレースや他のパフォーマンスなども観てみるという楽しみ方のご紹介など。魅力あるご提案をいたします。



第2回「夏～秋 ギミック 仕掛けの世界」

期 間：2023年9月6日～2023年12月10日

来館者数：1,031人

内 容：

自転車を折りたたむという考えは、自転車が生まれてからそれほど時間が経たないうちから考えられてきました。折りたたむことによって人の背や車や列車、飛行機など他の乗物などに載せて簡単に移動できる便利さを得ることができました。自転車での旅の幅が広がったのです。また、都市部での住宅環境など自転車の屋内保管も可能になりました。

様々な折りたたみ方法が考えられ、現在もなお新しい折りたたみ自転車が開発されています。今回の展示で折りたたみのギミック（仕組み）の世界をのぞいてみませんか。



第3回「自転車で運ぶ」

期 間：2023 年12月13日～ 2024年3月31日

来館者数：667人

内 容：

自転車は19世紀に発明されて以来、人間に最も身近な移動手段として様々な形で発達してきました。その中でも日本を含むアジア地域では、自転車は軽運搬の道具として「人」や「物」の運搬に密接に関わり、様々な種類と用途の自転車が作られ、使われてきました。

今回のテーマ展示ではこのような「人」や「物」を運ぶという側面から取り上げて自転車の展示の中から、運ぶアイデアや工夫の変遷を見ていくとともに、これからの自転車についても考えてみたいと思います。

